

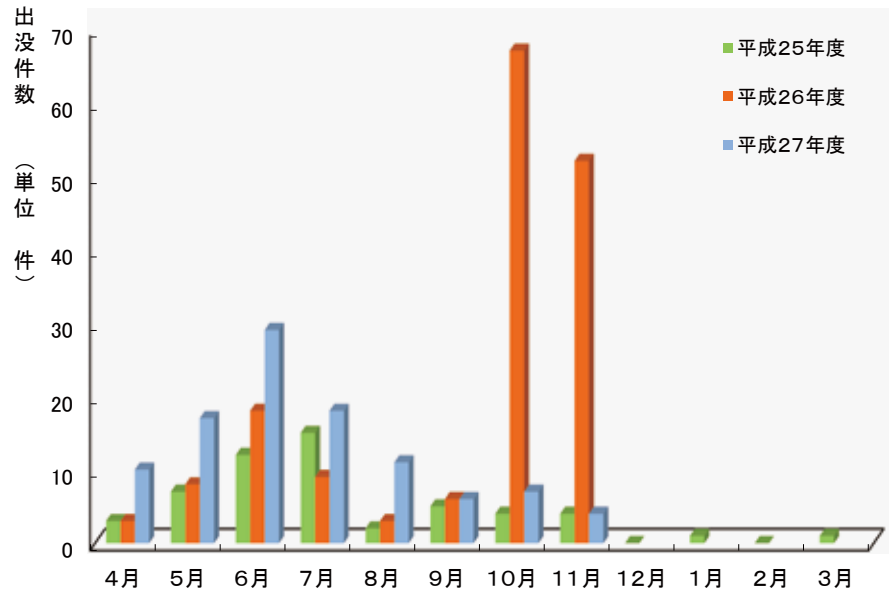
**Q** 最近、里にもクマがよく出てくるようになりました。クマの出没を予測することはできないのですか？

**A** クマの行動に関して、各方面で研究されていますが、個体差もあり予測は難しい状況です。ただし、秋の大量出没については、堅果類の豊凶と相関関係があることが分かっており、調査結果の情報提供をしています。



毎年堅果類の豊凶調査を行い、秋の大量出没の予測を行っています。

結実状況	H25	H26	H27
ブナ	凶作	凶作	不作
ミズナラ	不作	凶作	並作
コナラ	不作	不作	不作



**Q** クマと出会わない、遭遇事故にあわないためにどうすればいいの？

- A** まず、クマのいる場所に近づかないために、
- ①クマの餌となる植物がある場所に、特に実のなる時期にはその近くに行かない。
  - ②クマの出没情報のあった場所の近くには不用意に近づかない。
  - ③クマと出合いやすい時間帯の屋外での行動を控えるようにする。

また、クマの棲息する場所に入る場合は、

- ④鈴を鳴らすなどクマに自分の存在を知らせる。
- ⑤聞き慣れないうなり声を聞いたら先に進まない。
- ⑥クマの残した糞や新しい爪痕など、フィールドサインを見逃さない。
- ⑦見通しのきかない登山道や山林内では、周囲の情報に注意を払う。



木の洞や山中の小屋に潜んでいることもある。



日暮れ時から翌日の明け方までは、クマの行動が活発化する。



曲がり角、沢沿い、藪の近くや藪の中、雨の日などは、人もクマも気づくのが遅れる。



子グマは人間に近寄ってくることも!  
 親からはぐれた子グマに決して近寄らない。近くに親グマがいることもある。

食べ跡を見つけたら、すぐに立ち去り、近づかない。食べものに執着しているときは、その場に長く留まったり、再度戻ってくることも!

子グマを見かけたら速やかに離れる。親グマは子グマを守ろうと攻撃的になるので危険。



### 音で人がいることを知らせる

- ・鈴をつける
- ・時々笛を吹く
- ・空のペットボトルをたたく
- ・歌を歌う
- ・手をたたく
- ・ラジオをならす

### 五感を働かせて周りの情報収集をする

目で見る、音を聞く、においを感じることで、自然の中の様々な情報を集める習慣を培うことも大切です。

### フィールドサインを知る



クマの糞  
木の実の種が多い。ただ、季節により異なる。



たくさんのクマ棚



クマ棚



クマはき跡  
クマは上から下へ、シカは下から上にはく



ミツバチの巣を襲って食べた跡



ブナに残る新しい爪痕  
3~4本の線が平行につく



ブナに残る古い爪痕



アシウスキの巨木の根元にできた洞を巣穴に利用

Q 里にクマを寄せ付けないためにはどうすればいいのですか？

A ①誘引物（家庭ごみ、柿など）の除去・囲い込み

- ・家庭ごみを外に置かない、ごみ出し場所を金属ケースで囲む等、ごみの管理を行う。
- ・野外活動施設では、ごみが放置されていないか等の点検・管理を徹底する。
- ・趣味で行っている養蜂箱はまとめて電気柵で囲む。  
（可能な限り、クマの出没が予想される集落付近から遠ざける。）
- ・庭や畑にある柿の木などは、電気柵で囲んだり、トタンを巻く等の対策を行う。収穫されず管理されていない果樹は、可能な限り伐倒して除去する。
- ・家庭菜園のコンポストや家畜、ペットの餌などの管理に注意する。

②農地・果樹園等への出沒防止対策

- ・放棄果樹や廃棄された農産物、収穫された農産物の残りが誘引物とならないように、適正に処理する。
- ・農地や養蜂場は、必要な場合には電気柵で囲うなどの対策を行う。

③進入経路の除去

- ・住宅、農地周辺の見通しの悪い藪は刈り払う。



どこがちがうでしょう？

